

講義コード	1221	科目区分	専門教育科目(社会福祉士関連科目)
(フリガナ)	シャカイフクシエンジョギジュツエンシュウイチ	(フリガナ)	ウメキ モトシ
授業科目名	社会福祉援助技術演習 I	担当教員名	梅木 幹司
英文授業科目名	Seminar in social work practice I		
基準年次(開講期)	3年次(前期)	履修形態	選択(社会福祉士受験資格取得必修科目・保育士資格取得必修科目)
曜日/時限/講義室	木曜日/3・4時限/321教室		
授業の方法	演習	授業の方法 (詳細情報)	演習中心
単位	2	週時間	4
授業のキーワード	ソーシャルワーク、自己覚知、社会福祉援助技術現場実習、コミュニケーション技法、体験型ワーク、チームアプローチ		
授業概要・目的	本学におけるソーシャルワーク教育の実践的な学びを目的とした科目である。ソーシャルワーク実践に求められる基本的な援助技術、それに関連する知識を学び、併せてソーシャルワーカーに必要な価値・倫理を習得し、ソーシャルワーカーになるための基礎を固める。特に3年次後期に予定されている社会福祉援助技術現場実習 I に向けての準備学習と体験蓄積のトレーニングの場として位置づける。		
到達度評価の 評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルワークの基本視点を理解する。 ・ソーシャルワークの実践の原則を理解する。 ・ソーシャルワークの価値・倫理を理解する。 ・面接技法やコミュニケーション技術を習得する。 		
授業計画			
第1回	オリエンテーション、アイスブレイキング		
第2回	ソーシャルワークの価値と倫理、バ이스テックの7原則と倫理綱領		
第3回	自己覚知①		
第4回	グループワークによる自己覚知		
第5回	自己覚知②		
第6回	心理テストやワークによる自己覚知		
第7回	基本的なコミュニケーション技法① コミュニケーションの種類・技術		
第8回	基本的なコミュニケーション技法② 傾聴		
第9回	基本的なコミュニケーション技法③ 効果的な質問		
第10回	基本的なコミュニケーション技法④ 内容の反映及び感情の明確化と反映		
第11回	面接場面の展開 面接技法の習得と実践		
第12回	//		
第13回	社会資源についての理解		
第14回	各自の地域における社会資源についての整理と理解		
第15回	事例の理解と問題① 社会的排除、アウトリーチ、社会資源の活用・調整・開発等について		
第16回	//		
第17回	事例の理解と問題② 児童虐待、ネットワーキングと社会資源の活用・調整・開発等について		
第18回	//		
第19回	事例の理解と問題③ 高齢者虐待、ネットワーキングと社会資源の活用・調整・開発等について		
第20回	//		
第21回	事例の理解と問題④ 家庭内暴力(DV)、チームアプローチと社会資源の活用・調整・開発等について		
第22回	//		
第23回	事例の理解と問題⑤ 低所得者、アウトリーチと社会資源の活用・調整・開発等について		
第24回	//		
第25回	事例の理解と問題⑥ ホームレス、社会資源の活用・調整・開発等について		
第26回	//		
第27回	事例の理解と問題⑦ アウトリーチと社会資源の活用・調整・開発等について		
第28回	//		
第29回	まとめ		
第30回	社会福祉援助技術演習 II についての説明		
教科書・参考書等	教科書は使用しない。		
授業で使用する 機器等	毎回講義資料、リアクションペーパーを配付。 DVDによる視聴も行う。		
予習・復習への アドバイス	復習は行うこと。		
履修上の注意・ 受講条件等	社会福祉士受験資格取得および保育士資格取得を希望する人は必ず履修してください。		
成績評価の基準等	欠席は認めません。(やむを得ず欠席した場合は、補講にて対応) 授業への参加態度20%、毎回のリアクションペーパー20%、レポート課題20%、グループワーク等の取り組み姿勢20% 最終課題20%		
メッセージ	3年生後期から始まる実習に備え、知識を得るために主体的な授業への参画を期待します。		
オフィス・アワー	発表掲示後は、気軽に訪問してください。		
その他			